

# シーンⅣ-11 新しい植林対策事業

## 事業目的

伐採後の造林未済地等に花粉の少ないスギの植栽や低コストな手法で植栽を進め、森林の公益的機能の向上を図ります。あわせて、花粉の少ない、花粉症対策苗を増産し、スギ花粉の発生源対策に寄与するとともに、被災した海岸防災林の復旧に用いる松くい虫被害抵抗性マツ苗等を増産し、海岸防災林の早期復旧に取り組めます。

## 事業効果

CO<sub>2</sub>年削減効果

144t-CO<sub>2</sub>

## 事業内容

平成27年度事業費 24,000千円

- 造林未済地等への花粉の少ないスギ等の植栽及び塩害・山火事跡地等への植栽、低コストな手法による植栽に対して補助

事業主体 市町村・森林組合・林業事業者等

### 【平成27年度事業】

事業量 植栽面積約20ha

補助額 定額(1ha当たり100万円以内)

- 被災した海岸防災林の復旧に使用する松くい虫被害抵抗性マツ苗等の増産



## ha当たりの土砂流出量

森林  
2トン/年



裸地  
307トン/年



資料: 丸山岩三「森林水分」実践林業大

花粉の少ないスギを植栽

## 災害発生の恐れ



土砂流出・土砂崩壊の危険が！

このままだと...

## 現状



植林されない放棄地が増加

## 税導入後のイメージ



森林が回復し、将来にわたり、公益的機能の発揮が期待されます。